

蔵増北青壮年会だより
発行 第49号
平成20年 7月20日

そらねん



発行人会長 後藤賢次
編集委員長 土屋博明
編集 機関紙編集委員会



捨てるのは
ならぬものがある
市連合青壮年会舞鶴山一斉清掃

H20. 4. 6



総勢230名、急傾斜ものともしない高木青壮年会さんたちと



清掃後、舞鶴山文学の森にある「北青壮年会の桜」に
追肥 いつか大きくなったこの樹の下で・・・

理事定数を改正 平成十九年度北青壮年会総会

H20. 2. 24



青壮年会は草刈り、婦人会はトイレ清掃、
老人クラブは花いっぱい、みんながボランティア 一人一行動



モラル向上し、年々少なくな。(ごみゼロH20.5.25)

平成十九年度総会が北公民館で開催され、二十年度事業計画、予算案、会規約の一部改正などが審議され可決されました。

議案の中では、これまで懸案事項となっておりました理事定数規約の一部見直しの提案があり、異論なく、決定されました。

平成十九年度

総会提案に向けて執行部で議論になったのは、各区毎の定数枠を廃止し、一区

オープン選出した 場会の課題は

において役員選出の際など厳しい面が生じており、見直しが必要との意見が出されておりました。

には、三区は理事1人当たりの会員数が9名、一区の場合には2名と大きな較差が出てきており、特に一区に

から三区までオープンにして選出するかどうかでした。オープン選出した場合、今後の役員選出の厳しさや、会員への連絡のしやすさ、

将来を 見据えて

現在の機動力など、課題が多いとの意見が大勢でした。

その結果、各区の会員数の現状と将来の会運営のしやすさなどを見据えて、「各区から3名以内、且つ会員数8名につき1名(これまで運営してきた標準的な範囲)」という柔軟な改正案となりました。この方法によりますと、一区は2名となり1名減、二区、三区はこれまでと同じ3名となります。

り、一区の会員数が増加すれば、これまでと同じ人数に戻るの、会員の拡大に努めていきたいとの説明があり、満場一致で決定されました。

役員改選では、2年間会長を務めた秋保栄さんに代わって後藤賢次さんが新会長に選出されました。

(編集委員長 土屋博明)



後藤賢次新会長を中心に、どうぞよろしくお願ひします。

ふるさと情報満載 蔵増ポータルサイト
<http://www.onekumi.jp/kurazo/html/>

新三役に聞きました



息の長い
ボランティア活動を

新会長 後藤賢次さん

後藤さんは、30歳の時に青壮年会に入会。すぐ将棋部に入り、市連合青壮年会将棋大会では有段者に対する当て馬としての役割を担ったそうです。当時の大会の会場は各地区公民館持ち回りで行われ、5名1組で対戦したそうです。成生公民館で大会が開かれた時のこと、引き分けてジャンケンで勝敗を決めることになり、その結果、全員負けてしまったことが一番の思い出だそうです。今では下積み経験も糧となり、ここ数年負けなしの実力を付けてきました。

高校生の時は、絵画部の部長として油絵の創作に取

り組んでいたそうです。その頃から創作作品に対しては、目が肥えていたようで、絵画は当然ですが、分野外の書道に対しても講釈を語らせれば止まらなくなるのもうなずけるところであります。

本会では、将棋部長3年、理事2年、編集委員4年、編集委員長2年、副会長4年と多くの役職をこなし、会や地域の発展に尽くされております。新会長としての意気込みを伺ったところ「肩を張らず、息の長いボランティアの出来る、みんなが参加してくれる青壮年会を創っていききたい。」と熱く語ってくれました。

昭和30年3月生まれの53歳。六人家族。仕事は天童市職員、農業委員会に勤務しているそうです。趣味は、囲碁、将棋、そして日曜大工(壊れたものを修理することが得意)とのこと。モットーは「?とお聞きしたら「自分で出来ることは自分でやる」という頼もしい言葉が返ってきました。

気軽に参加できる
青壮年会へ

新副会長 土屋仁さん

土屋さんは、山形ナショナル電機株式会社に勤務しており、酒田に12年間勤務した後、平成12年に古里に帰ってきて、ようやく自宅から通勤できるようになったそうです。

会社では、建設営業部の中で松下電器産業の製品を中心に冷暖房、換気、水処理、浄化槽、住宅設備などを県内の官公庁をはじめ、建設関連会社への営業や設計・積算などの仕事を行っています。しかし、建設関連の需要も減少してきており、加えて電子化の発展により次々と市場に出てくる新製品の情報や、システム技術開発について行かな



ければならないのも大変だとおっしゃっておいりました。青壮年会活動については「参加する機会も少なく名ばかりの会員のようでしたが、三役という役職になり、いろいろ多方面で活動しているということに初めて気が付きました。皆様方には絶大なご協力・ご支援をお願いするとともに、全員が気軽に参加できる会を目指して行きたい。」と語っておりました。

昭和30年12月生まれ(射手座・羊年)の52歳。6人十犬一匹の7人家族。好きな言葉は、尊敬する山形ナショナル創業者(故清野源太郎氏の言葉「美しき邂逅(かいこう)は限りなき力を生む」だそうです。趣味はと伺ったところ、「現在これという趣味はなく、酒田勤務時代に海釣りや、船の操舵などを楽しんでいましたが段々遠ざかってしまった」そうです。将来の夢は、「健康で明るく家族・地域と仲良く生活できること。」だそうです。

聞き手 編集委員長 土屋博明

新役員紹介

- | | |
|---------------|------------|
| 会長 | 後藤 賢次(北一) |
| 副会長 | 土屋 仁(北一) |
| 理事 | 山崎 進(北一) |
| 理事 | 土屋 博明(北二) |
| 理事 | 佐藤 春彦(北一) |
| 理事 | 菊地 義盛(北一) |
| 理事 | 今田 仁志(北一) |
| 理事 | 佐藤 俊彦(北一) |
| 理事 | 佐藤 利光(北一) |
| 理事 | 土屋 忠明(北二) |
| 理事 | 山崎 稔(北二) |
| 理事 | 佐藤 正男(北二) |
| 理事 | 土屋 光春(北二) |
| 理事 | 東海林 由人(北二) |
| ソフト部長 | 鈴木光芳(北一) |
| 将棋部長 | 土屋政美(北一) |
| 麻雀部長 | 熊澤常也(北二) |
| 書道部長 | 佐藤俊彦(北二) |
| 写真部長 | 大木富雄(北二) |
| 野山を歩こう会 | 佐藤春彦(北一) |
| 編集委員長 | 土屋博明(北二) |
| 編集常任委員 | 森山美典(北二) |
| 副委員長 | 秋保 栄(北二) |
| 副委員長 | 山崎昭夫(北二) |
| 上部機関(市連合青壮年会) | |
| 副会長 | 奥山正男(北一) |



息を呑む詰めの局面 有段者を攻める森山美典さん

それでは対戦結果、本気で優勝を目指すAチーム。メンバーは、エース熊澤常也さん、自称名人後藤賢次さん、変幻自在な森山美典さん。初戦、やはり二チーム出場の強豪北久野本青壮年会のBチームと対戦。まだ調子がはずハラハラしたが2勝1敗で突

破、2回戦は高木チーム。この対戦も気をもませたが2勝1敗で撃破。(すつきり勝つてよ) さあ決勝戦、千布、北久野本Aを難なく破った難敵五日町チームが対戦相手。この対戦も一進一退、ひやひやドキドキさせられました。常也さんが有段者を破り1勝、続いて賢次さんが勝ち、2勝1敗で勝利。ほっ。2連覇、5度目の優勝を達成した。



正賢さんと政美部長が初勝利。期待の星誕生

強さ本物 五度目の頂点 北久野本・高木・五日町を撃破し二連覇

市連合将棋大会
H20. 3. 2

去る3月2日、天童地区公民館を会場にして、天童市連合青壮年会第33回将棋大会が開催された。前年度優勝の蔵増北青壮年会将棋クラブは、最強のメンバーを選びすぎて2チームが出場。2連覇へ準備万全。当日は小春日和を思わせ

るのんびりとした天候しかし、会場内はピンと糸が張りつめた緊迫感に満ち溢れている。対戦方式は、一チーム3名の団体戦でのトーナメント方式。1回戦で敗退したチームは敢闘トーナメントでの対戦となる。

すざいぎ 土屋正賢 初陣で有段者破る

となる。その初戦、初陣の土屋正賢さん、不幸にも北久野本Bの有段者と対戦。しかし結果は、見事ブツギリで勝利。すばらしい！

ついでながらBチーム。1回戦は高木チームと対戦。難なく0・3で敗退。(まだまだ修行が足りぬ!) 気を取り直して敢闘トーナメントへの進出

の星誕生です。続いて私も部長の意地があり、悪戦苦闘の末、勝たせていただいた。(ヤッター)大舞台での初勝利は大変嬉しく忘れられない一日となった。終了後、サポートの皆さんと一緒に北公民館に戻って祝賀会。以前当てる馬に甘んじていた某氏(本紙3頁にも登場)は、「ここ数年負けていない」と声のトーンは天井知らず上がる。とにかく勝利の美酒は格別でした。来年は3チーム出場、3連覇!。(土屋政美記)



激戦制してほっ。いつもの笑顔に戻り、さあ祝勝会!

清雄さんの三連覇阻止 二度目の優勝 森山一男さん

青壮年会から、常連、新鋭、初参加と計10名の参加があり盛大に開催された。まずは予選リーグ。2つのブロックに分かれての5名ずつ総当り戦。日ごろ使い切れてない頭を使いつつ盤上に熱い戦いが繰り広げられる。結果、勝率上位者によるトーナメント方式による決勝リーグは、古豪お二人と将棋クラブ常連組三名が進出する。



まだまだ若いもんには負けん 気迫の森山さん

2月11日、北区新春将棋大会（毎年建国記念日に開催）が今年も北公民館を会場に、老人クラブから二人、白熱した対局が展開された結果、決勝戦はここ何年と優勝戦線から遠ざかっている森山一男さんと、3連覇を狙う鈴木清雄さんとの対戦となった。力将棋で予断を許さない一戦であったが、力強い攻めを見せた森山一男さんが古豪の勝負強さを見せつけ二度目の優勝に輝いた。北区ナンバー1棋士に。（おめでとーございます！）

大会後、こんなに頭使ったのは久しぶり、いや初めて・・・？と疲れた頭脳を癒すため十分すぎる反省会を行いました。
是非、来年は皆さんも御参加ください。（土屋政美記）

リベンジ誓い

男の意地 斎藤勉さん初優勝 北区新春麻雀大会



弘美さんのパパも四暗刻 いやーまいった

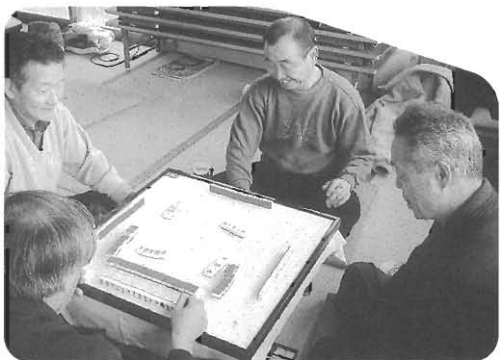
新春恒例となっている第8回北区新春麻雀大会が1月20日（日）、北公民館で行われました。昨年は窓を開けられるほどのぼかぼか陽気でしたが、今年も晴天。皆さんの日ごろの行いの良さが表れたような絶好の大会日和となりました。
13名のメンバーが勢揃いし、和やかにおしゃべり

をしていましたが、

注目の的は五十嵐弘美さん。男性群から「去年のようにはいがない」（女性初参加、初優勝）とけん制さる。我こそ優勝という勝負師の顔・顔・顔。

秋保会長が「今日一日麻雀にどっぷり浸かって、ティッシュユ争奪戦を繰り広げ、交流を深め楽しんでください」と挨拶。昨年優勝の五十嵐弘美さんの選手宣誓で大会の幕が開かれました。

3回戦終了時点では、優勝を目指し気合の入っている斎藤勉さんが3戦全勝。それを土屋強、五十嵐政利、弘美、佐藤正男さんが2勝1敗で追う。4回戦、弘



楽しく会話を交わしながら、1日どっぷりと

美さんが3勝目を上げ追撃しましたが、勉さんが男の意地を見せ、全勝で振り切りました。勉さんは、北区の大会になってから初優勝です。2位は弘美さん、3位には四暗刻をツモった政利さんが入り、初の親子入賞となりました。麻雀は運が左右するとは言うものの、弘美さんは今年も優勝争いを演じ、場面を読む力はさすが、実力は確かです。
懇親会では今年も岩淵武男さんからどんがら汁をいただきました。部（部長の娘さん）が用意したもつ鍋との鍋合戦となり、舌鼓を打ち、大いに盛り上がりました。岩淵さんご馳走さまでした。（熊澤常也 記）

春は寒河江川辺をゆったり歩き 五月 陽いずる信仰の山 水晶山を訪ねる

川辺を歩く

去年4月末、翁(おきな)山で雪に阻まれ途中退路した反省から、4月27日、平地で長めのウォーキングを行いました。天候曇り、時々晴れ、一時雨。

コースは堀端公園〜寒河江川〜慈恩寺大橋までの15Kmコースと、溝延橋から慈恩寺大橋で折り返す



10 Km コースを設定。途中の桜並木が満開の時期を選んだつもりが、温暖化の影響なのか一週間位の差で葉桜になっていました。

チェリーランドでの昼食をはさんで約3時間全員快調に歩き終えました。日常生活の中で余分なカロリーを消費するのは1日1万歩けば良いそうですが、昔の旅人は1

日40 Kmは歩いたそうです。次回はもう少し距離をのばしましょうか。

水晶山

陽のいずる信仰の山、水晶山(667m)に登る。5月25日、雨のち曇り。夜半降っていた雨も止み、早朝、堀端公園の草刈り奉仕と、ゴ



信仰の里山「水晶山」の新緑に癒される

ミゼロ運動に参加した後、3人が登る。コースは山口地区の登山口から山頂を往復。登山道はよく整備され登り易い。水晶のかげらなどを採しながら約45分で山頂に到着。途中9人の登山者と会う。山頂には神社があり、山岳信仰の名残りが多く見られる。気軽に登れる山ですが、山頂の北側は岩場ですから注意してください。(佐藤春彦記)

本物を観て・感じる 県展、保科祐吉個展を鑑賞

3月23日、春を感じる季節、写真クラブ毎年恒例の「山形県写真展」鑑賞会がありました。今回は県知事賞の「定年」に見られるように、被写体のそれぞれの人物の表情が何とも温かく、そしてそのシャッターチャンスは、「生きてる」っていうことを物語っているような、そんなスナップ作品が多く入選していたような感じがしました。

展示してありました。保科先生は山形に住み、有名写真雑誌「日本カメラ」のほか教社で年間最優秀賞に輝いた実力派です。先生のモットーは「人のとれない写真を撮る」ことだそうです。野鳥などの生物を撮る時は、じつとカメラを構えて、集中して何時間も待つ・・・これはやはりまねができません。本物を観て、感じる、そんな貴重な一日でした。

(写真部 土屋久雄記)



保科先生の作品は、毎月全国誌のトップ面に掲載され読者を魅了しました。



ディスクをディスクが弾き、一発逆転の楽しさあり

選手から決定的ポイントを奪われ負けてしまった。貸さない方が良かった(笑)。全11チーム中、北チームの最高順位は3位。でも、勝負以上に和気あいあいと楽しめました。(秋保栄記)

日、蔵増地区青壮年会レクリエーション大会が開催された。種目は「ディスク」。平成16年度まではボウリ

誰でも どこでも 楽しいディスク

地区青壮年会レクリエーション大会

冬は体がなまってしまおう。そんな時期は軽スポーツで身体をほぐそうと1月27

ング大会を開催してきたが、参加者不足により種目を變更18年度に初めてこの競技を採用。ルールも単純、誰でも簡単に楽しめて大好評だったことから今年もということになった。
残念ながら地区青壮年会には北・南・窪野目の3団体しか加盟していないので各団体でできるだけ多くのチームで参加しようとお互いに話し合い、北からは最多の4チーム(3人一組)が参戦、他チームにレンタルできるほどの参加者があった。そのレンタル

地域のニュース

《西沼田遺跡公園オープン5/24》



蔵増地区西沼田に整備が進められてきた遺跡公園が完成し、オープン式が開催されました。西沼田は古墳時代(聖徳大使の頃)の農村集落跡で、平成14年度から整備に着手、建物4棟、田んぼや水路などの自然環境、ガイダンス施設など約6億2千万円をかけて復元されました。様々な体験をとおり先人たちの生活の知恵を同じく知ることができます。地域に残してくれた遺産として大切に守り、次の世代につないでいきたいものです。(秋保栄記)

わたしの作品

《佐藤翠峰(俊彦)さん揮毫》



「風林落葉秋聲、動き露草鳴、螢夜氣涼」

呉寛の詩一節

書道部に入部して十数年経ちましたが、今もって満足のできる作品は書けません。ここに載っている作品は、昨年の蔵増地区文化祭に出展した作品です。中々納得

書道部に入部して十数年経ちましたが、今もって満足のできる作品は書けません。ここに載っている作品は、昨年の蔵増地区文化祭に出展した作品です。中々納得

できるまで書けず、時間に追われ、やつの思いで仕上げました。大筆で書くだけでなく、小筆で書く実用文字も中々面白いです。人名はもちろん、各都道府県名や片仮名でラヂオ、バッテリーなど楷書で書いたり、色々な文字があり飽きません。私は実用文字を書いているときが楽しいです。入部の動機であ

つた実用文字を練習する機会を得たことです。初心を忘れずいつか自分の書ができるようがんばります。書道部長になって早くも一年が過ぎ、部員一同の協力に支えられ無事に過すことができました。ありがとうございます。7月には納涼会がありますので、部員の皆さん楽しみにしてください。(佐藤俊彦記)

7	6	5	4	3	2	1
			王			
		飛		歩		王
				角		

☆第38回詰め将棋
将棋部があなたに挑戦
持ち駒 角桂桂

ヒント
角を捨てますが、その前にひと工夫が必要。五分で三級。九手詰め。

編集委員

委員長：土屋博明・常任委員：森山美典、秋保栄、山崎昭夫・区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区(兼)土屋博明
部選出：リト部 鈴木光芳、将棋部(兼)土屋政美、麻雀部 熊澤常也、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

※会員のお子さんや同居のお孫さんを紹介します。

近所のニュース 《おらいのめんごっ子》

山崎秀行さん



しょうき 翔輝くん (8歳) りゅうと 瑠斗くん (2ヶ月)

五十嵐政利さん



はやと 迅飛くん (3ヶ月)

斎藤勉さん



あい 藍ちゃん (8歳), まゆ 茉由ちゃん (3歳), たくや 拓也くん (2歳)

表紙題字 書道部長 佐藤翠峰(俊彦)書

この人

北2区

山崎 進 さん



昭和29年、秋田県横手市平賀町で農家の二男として生まれ育ち、昭和49年神町自衛隊に入隊。その後、奥様の弘子さんと出会い結婚。蔵増に永住となりました。

入会し、二区の理事などを経て現在副会長(スポーツ担当)、市連合青壮年会の理事を担って活躍されています。会のクラブでは、野山を歩こう会に所属し、これまで葉山や鳥海山に登ったことが良い思い出に残っているそうです。健康の秘訣は、と聞いてみると「身体を動かしてストレッチを溜めないこと。」「溪流釣り、スキー、ジョギングなど趣味が多彩で、今年のさくらんぼハーフマラソン大会にも参加し完走した

たそうです。これが進さんの健康を維持しているんだなあと思いました。神町駐屯地に勤務し6月に定年退官を迎えました。思い出に残ることは新潟中越沖地震の被災者救援に赴き、震災の悲惨な状況が印象に残っているそうです。現在は6人家族。7月からは寒河江市内の会社に勤める予定とのこと。今後の目標と蔵増についての印象を聞くと、「65歳までは現在の趣味を続けていきたい。地域の連帯感があり、とても住みやすい所です。」と話してくれました。(聞き手 土屋幸一)

北区の人事

- 北公民館運営委員会の方々を御紹介します。(敬称略)
- 連合会長 蔵増 幸蔵
 - 北一区長 鎌倉日出男
 - 北二区長 鈴木 傳吉
 - 北三区長 渡辺勘二郎
 - 連合会計 秋保 松弘
 - 青壮年会長 後藤 賢次
 - 消防団部長 土屋 孝行
 - 老人クラブ会長 土屋幸一
 - 婦人会長 (一) 鎌倉えい子 (二) 森山 静江 (三) 山崎恵美子
 - 若妻会長 山崎 和美
 - 子ども育成会長 本間和彦
 - 交通安全協会 高橋 敏広
 - KSC (一) 山崎 潤 (二) 土屋 正賢 (三) 秋保佐智子
 - 〃 (一) 渡辺 勉
 - 〃 (二) 奥山正男
 - 北公民館長 (一) 奥山正男 (二) 森山美典
 - 〃 主事 (一) 森山美典
 - *****
 - ☆第38回詰め将棋の回答
 - ▲3一歩成 △同 金
 - ▲1二角 △同 飛
 - ▲1一角成 △同 玉
 - ▲2三桂 △2一玉
 - ▲3三桂 まで九手詰め

あとかき

▽今号の担当記事3本。私の文才では厳しい。日常の忙しさにまけて中々進まない。締め切りが近づく。気持ちには焦る。なんて時間はこうも無常にも過ぎ去るのか? 日常に流されていると、時の大切さを考えることもできない。時々立ち止まって今を見つめる心の余裕が是非必要であると考えるこの頃である。皆さんも時間を大切に。(将棋部 土屋政美)

これからの行事予定

平成20年8月9日(土) 北青壮年会ビアパーティー
8月31日(日) 地区レクリエーション大会
8月10日(日) 堀端公園草刈り・盆踊り大会
10月25~26日(土・日) くらそう文化祭